事業所における自己評価

放課後等デイサービス　　オレンジ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準以上のスペースを確保しており、職員の目の行き届く広さを確保している。また、室内は子供が安全かつ心地よく過ごせる工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			その日の利用状況等により、児童指導員・支援員など、人員配置基準を上回った職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリ−化の配慮が適切になされているか	○			室内のおいてはバリアフリー化しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業所の方針・理念などにおいては、職員への周知徹底を図ると共に、問題点、解決策など日々話し合えるようコミュニケーションの活性化を図り、意見を述べやすい環境をづくりを心掛けている。現状では常勤の職員・パート職員も参加できる機会を増やし、職員間での意思の疎通・情報共有を図っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者から頂いたアンケート調査の結果を基に必要と思われることは改善に向けての努力しており、改善したことにおいては保護者に発信しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページにて公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていなません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			施設内研修及びWeb研修等により職員のスキルアップに努めています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントや関係機関からの情報をもとに子供と保護者のニーズはもとより、客観的に観て必要と思われる課題をサービス計画に反映させています。
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントシートを独自に改良したものを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで話し合って行っています。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			創作活動・学習支援・自由時間・集団活動・個別活動等を組み込んだ活動プログラムを作成しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			状況に応じた活動を取り入れたいます。
	⑭	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成ているか	○			個別活動・集団活動・学習支援など個々に必要とされる計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援分担や活動内容などを記載した日程表を基に、日々のミーティングにて、活動内容・支援分担等の役割確認を行うと共に、前日の振り返りも行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			パート職員等は支援終了後にミーティングを取ることは難しく、翌日のミーティングにて前日の振り返りを行い、職員間で問題点及び改善について共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の活動内容やその日の個々の状況についてはケース記録に残しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			概ね6ヶ月ごとにモニタリングを行い、保護者の意向等を踏まえうえで、計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			行っている。
関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校から事前に配布される年間計画等を基に、不明な点はその都度、学校に確認するなど、常に学校や担任とは情報の共有を図っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受けい入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	○			協力医療機関を定め、かかりつけの医療機関及び主治医をお知らせ頂き、必要に応じ連絡する事としています。
	㉓	就学前に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者の了解を得て、保健婦さんからの情報提供や、就学前に利用されていた施設など作成した引継ぎノートなどを基に情報の共有に努めています。

の連携関係機関や保護者との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障がい福祉サービス事業所へ移行される際には、支援内容の情報提供や、移行される前の相談にも務めています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	本年度は参加することができなった。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか			○	今のところ交流する機会はありません。
	㉗	(地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	スケジュールが合わないことが多く参加できない事もあるが、出来る限り参加るようにしている。
	㉘	日頃から子供の状況を保護者に伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳にその日の状況等を記載するとともに、口頭でもお伝えするなど、お子さんの発達状況や課題について職員、保護者間で共通の理解が得られるよう心掛けています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	お仕事をお持ちの方が多く、時間が取れないというのが現状です。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行うと共に、事業所内に掲示し、いつでも閲覧できる環境を整えています。
	㉛	保護者から子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			モニタリング時に悩みや障害についての質問などをお聞きする事が多く、それ以外でも質問や相談は随時受け付けております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	アンケートを行った際、時間が取れない等、今のままが良いとの回答も多く開催は難しい状況です。
	㉝	子供の保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情・虐待など相談窓口や苦情解決責任者、苦情解決責任者、第三者委員を設置し、解決に向けた手順の整理を行い、迅速かつ適切に解決が図られる仕組みを作っており、保護者には契約時に必ずご説明し、事業所内にも苦情・虐待防止の仕組みを掲示し、迅速な対応に努めています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか			○	会報等は発行していないが、活動概要や行事などについはお知らせを配布している。

	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			雇用契約時に、個人情報保持（秘密保持等）の誓約書を交わし、個人情報保持に努めています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じ、お知らせなどを配布すると共に、保護者には送りの際に口頭にてご説明するなどしていいます。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	通常は見学者の受け入れは随時行っています。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・事故防止・事故発生時・防災・衛生管理マニュアルを策定し、職員間での周知徹底を図っている。保護者へは、契約時にご説明しており、いつでも閲覧できる環境を整え、保護者・職員への周知徹底に努めています。
	㊴	非常災害の発生を備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災・消防計画に基づいて、年2回実施しております。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		事業所内研修やWeb研修をに取り入れています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則として身体拘束は行わない事としているが、身体拘束を必要される状況が発生した場合は、身体拘束を行うか否か、代替え案はないか等の検討会議を行い、必要と思われた場合には、利用児童や保護者に事前に身体拘束の態様や時間等について説明し、了解を得た上で行う事としています。身体拘束に関してはサービス計画にも記載し、記録に残すこととしています。
	㊷	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			聞き取りの際にアレルギーがあるか否かについてお聞きし、個別に対応しています。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集は作成していないが、気付いたことはその都度ミーティングにて再確認したうえで改善策を職員間で共有し、再発に努めています。